

からくさ



第21号

発行日：平成30年 3月 2日（金）

発行者：南相馬市立原町第二中学校長 伊藤 浩樹

【教育目標】

- 礼儀正しく思いやりのある生徒
- 自ら学び考える生徒
- 健康で体力のある生徒

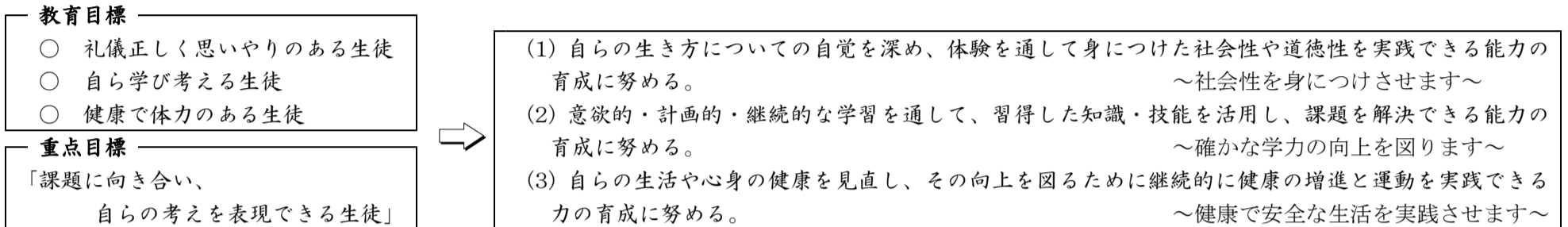
【重点目標】

- 課題に向き合い、自らの考えを表現できる生徒
- TEL 0244-22-4188

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、今年度も本校教育活動に対しまして格別のご高配を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

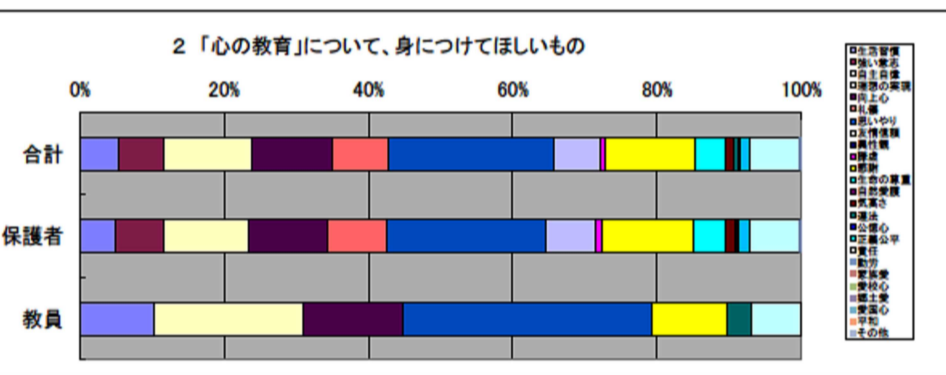
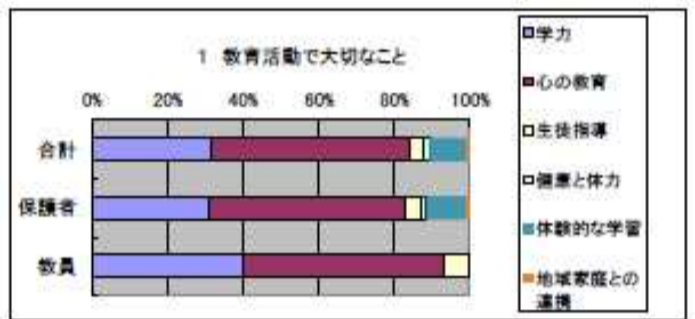
さて、昨年12月に行いました「平成29年度原町第二中学校学校評価」に関するアンケートでは、保護者の皆さんにご協力いただきまして誠にありがとうございました。現在、この結果をもとに、来年度の教育課程を作成しております。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

※ 本年度の教育活動の評価です。ご一読いただければ幸いです。



1 本校の教育目標や経営方針について

教育目標についてのアンケート結果から、教育活動で大切なこととして「心の教育」を挙げる方が多数を占めていることが確認できました。昨年度44%だった割合も、今年度は52%と増えており、「心の教育」の重要性を改めて確認しました。そこで、「礼儀正しく思いやりのある生徒」の育成に来年度も引き続いて重点を置いて指導に当たってまいります。



また、この「心の教育」について、身につけて欲しいこととして、「思いやり」「自主自律」「向上心」「感謝」の項目が多く挙げられています。

これらの調査結果をもとに来年度は、これまでの指導を継続して礼儀や感謝の心を大切にするとともに、学び合いによる互いの切磋琢磨を通して「思いやり」や「自主自律」の心の育成に努めて「生きる力」を育てて生徒一人ひとりが輝ける学校生活を送れるよう、特色ある教育課程を全職員で編成し、指導してまいります。

2 今年度1年間を振り返って

※ 評価は、「あてはまる」と「やや」の合計を表示

分野	自己評価	評価	学校関係者評価	
学校経営	<p>(1) 重点目標「課題に向き合い、自らの考えを表現できる生徒」の育成の工夫をしてきました。</p> <p>教育目標・重点目標については、学校だよりやPTA総会・学年懇談会、そして全校集会等で、保護者の皆さんや生徒に説明し、本年度の取り組みについて十分に理解を得たと考えています。しかし、教師の評価に比べ生徒及び保護者の評価が低い（「あてはまる」の割合が低い）ことから、学校では表現力の育成を重点に指導しているものの、まだ十分な成果となっており表れていない、生徒が実感として感じられるまでに至っていないと考えます。表現力は、学力を身に付ける上で不可欠です。継続して指導することで生徒一人一人の学力をさらに向上させていきたいと考えます。</p>	<p>教育目標・重点目標の達成のために工夫している</p>	<p>教職員 100%</p> <p>生徒 96%</p> <p>保護者 96%</p>	<p>○4月に比べて1年生も学校に慣れてきて、2年生も中堅学年としてしっかりと生活している。3年生は進路を見据えて勉強に力をはいているよう見えました。</p> <p>○自己評価の結果から生徒、教師、保護者ともおおむね満足である。</p> <p>○良好な運営をされていると考えます。</p> <p>○学校行事に関する問題点、改善点の意見を出し合っていることは、開かれた運営をしていると評価します。</p> <p>○引き続き「安全対策」の徹底をお願いします。</p> <p>○学校（校長）の運営方針に基づきよく運営されていると史料します。</p>
	<p>(2) 学校等の様子を学校だよりや学級・学年通信でお知らせしてきました。</p> <p>今年度も、学校だよりや学級・学年通信、保健だより等を活用しながら学校の様子を伝えてきましたが、まだ改善の余地があることが教職員の評価から見えてきました。また、授業参観等の機会については、保護者は92%がほぼ満足の評価でしたが、教職員は71%でした。次年度は、今年度以上に保護者の皆様との連携の機会を生かしてまいりたいと思います。</p>	<p>学校だより等で学校の様子を保護者に知らせている</p>	<p>教職員 77%</p> <p>生徒 96%</p> <p>保護者 93%</p>	
学習指導	<p>(1) わかりやすい授業の改善に努めてきました。</p> <p>授業では、自己表現力の育成に努め、「話し合い活動」の充実を図ってきました。あわせて、学習課題の提示・まとめの時間の充実を全職員が共通した取り組んできました。その成果として、より意欲的な授業態度も育成されつつあります（生徒評価82%、教職員評価94%）。しかし、まだテストの得点としての学力の定着が不十分であるため保護者の評価は今ひとつでした。学習に対する期待の大きさを実感しています。現在の取り組みに加え、来年度も授業の質的な改善に努め、「学力の向上」という保護者の皆様の期待に応えられるよう取り組んでいきます。</p>	<p>わかりやすい授業を工夫している</p>	<p>教職員 100%</p> <p>生徒 90%</p> <p>保護者 74%</p>	<p>○学習面で理解を示す傾向があることは良いことである。</p> <p>●生徒に将来の希望や目標をもたせる指導について課題が見られる。学習内容の定着や体験学習の取り組みについての指導も充実させたい。さらに家庭学習への指導についても、改善に取り組む必要がある。</p> <p>●朝の読書活動の時間での読書習慣を大切をお願いします。ネットではなく、まず本を読む習慣をしっかりと身につけて欲しいと思います。</p>
	<p>生徒は、授業の内容をよく理解している</p>	<p>教職員 100%</p> <p>生徒 80%</p> <p>保護者 64%</p>		

※ 評価は、「あてはまる」と「やや」の合計を表示

分野	自己評価	評価	学校関係者評価	
2 学習指導	<p>(2) 質問しやすい雰囲気の醸成に努めます。</p> <p>「質問しやすい」という項目は、昨年度と比べ満足度が落ちており、残念な結果でした。この結果を真摯に受け止め、授業の改善を図ってまいります。授業中の質問は、意欲的な取り組みに直結します。また、教師への質問以外にも友人同士が学び合い、支え合う雰囲気が大切だと考えております。来年度はアクティブラーニングの手法を取り入れ、この雰囲気の醸成に努めてまいります。</p>	<p>授業で分からないことは先生に質問しやすい</p>	<p>教職員 78%</p> <p>生徒 78%</p> <p>保護者 65%</p>	<p>●引き続き「自ら学び考える生徒」の育成を徹底し、自信を持った回答が得られるよう希望します。</p>
	<p>(3) 家庭学習の習慣を身につける努力をします。</p> <p>家庭学習は、授業の内容の定着を確実にするためには必要不可欠なものです。なかなか軌道に乗っていません。学校では宿題とは別に、自主学習に取り組ませるために、「自主学習ノート」を作成させ、毎日提出させたりしながら家庭学習の習慣化を図っていますが、毎日2時間以上家庭学習に取り組んでいる生徒は49%であり、半数以上が時間の確保が難しい状態です。県教委発行の「家庭学習スタンダード」等を活用し、家庭学習の仕方や授業との関連を図った取り組み等、今後も継続して指導してまいります。保護者の皆様にも、声かけ等、ご協力いただけるよう、連携を密にしていきたいと思っております。</p>	<p>生徒は家庭学習の習慣が身につけている</p>	<p>教職員 65%</p> <p>生徒 77%</p> <p>保護者 69%</p>	
3 生活指導	<p>(1) 生徒が、学校や学級で好ましい友人関係がもてるよう支援していきます。</p> <p>保護者の皆さんも生徒の友人関係には強い関心をお持ちであり、また、生徒の成長過程では必要不可欠なものです。調査から、学校ではほぼ良い人間関係が築かれていると思っております。学校は集団生活であり、集団になれば軋轢は必ず生まれます。生じた軋轢には、早く解決できるよう、学年を中心に指導に当たってきました。また、部活動や生徒会活動を中心とした生徒の自主的・自立的な活動を通して友人関係が生まれてきます。今年度、生徒会活動の活性化に重点をおいて指導してきた成果の一端が見えると思えます。また、本校の挨拶については、来校者の皆様にご褒め言葉をいただいております。これも、今後も継続していきたいと思っております。</p>	<p>生徒は学校や学級で好ましい友人関係を持っている</p>	<p>教職員 94%</p> <p>生徒 98%</p> <p>保護者 88%</p>	<p>○今年度は特に、部活動での活躍が素晴らしかったことで、先生と生徒のコミュニケーションがとても良いのではと感じています。今後も続けていって欲しい。</p> <p>○今年度新体制で生徒を指導し、できていることが見えるように結果を感じています。先生方は自己評価を厳しくしているようですが、これからも生徒とのコミュニケーションを大切にして指導にあたって欲しいと思っております。</p> <p>○原二中の生徒は実に明るく挨拶をする。保護者アンケートにあった通り、他者に対する思いやりの気持ちを大切にすよう指導していただきたい。</p> <p>○原発事故以来、体力、運動能力の低下が心配だったが、部活動で好成績を残すなど、身体面では良い指導が表れている。また、スポーツ大会を生徒の自発的な考えや自主性を重んじた運営は素晴らしい。これからの社会で役立つ能力を育成する良い機会である。</p> <p>●保護者からの信頼も概ね獲得できているように思うが、生徒が困ったときに相談できる相手について、教師側の評価が低いのは問題である。いじめや非行の始まりを未然に防ぐ意味でも、教師側が多感な時期の生徒を広く受け止める意識が大切である</p> <p>●円滑なコミュニケーションはもちろんですが、先生に対する緊張感や性格など様々な理由で相談できない生徒がいると思う。様々な手段の自己表現ができる環境や機会を増やしていく取り組みがあればよい。</p>
	<p>(2) 相談活動の充実に重点をおいて取り組みます。</p> <p>相談活動については、定期的に計画されている教育相談や三者懇談をはじめ、随時行うチャンス相談等、機会をできるだけ多く持つよう努めてきました。また、生徒理解に努めるとともに、共感的理解のもと親身に相談にのるよう努めてきた結果、86%の生徒、87%の保護者の皆さんからほぼ満足の回答をいただきました。しかし、困ったとき気軽に相談できる窓口等、まだまだ努力していくことがあります。生徒23%にとっては、気軽に相談できる先生、相談窓口が必要であり、次年度整備に努めてまいります。また、「いじめ」については、早期発見・早期解決を心がけ、生徒へは月1回、保護者には隔月の調査を実施しております。「いじめ」は絶対に許されない行為であり、「いじめ」根絶に向け、生徒会の「いじめゼロ宣言」を活用して指導に努めております。生徒の変化に敏感に気づけるよう、全職員で気をつけて見守っていますが、ご家庭の協力がなければ、難しいこともあります。今後も連携を密にしながら、生徒の成長を見守ってまいります。</p>	<p>困ったときに相談できる先生がいるか</p>	<p>教職員 77%</p> <p>生徒 77%</p> <p>保護者 未調査</p>	
4 協力・連携	<p>○ P T Aや地域の関係機関と適切に連携している。</p> <p>塔下祭では、保護者の皆様には、今年度も生徒のためにご尽力いただき、ありがとうございます。また、さまざまな面でご協力、ご支援いただいた結果、各種行事等では大きな成果を得ることができました。また、部活動では、生徒の送迎を含め、ご協力いただきありがとうございます。おかげさまで、部活動では各部が期待に応え、素晴らしい成績を残すことができました。授業参観に比してP T A総会・学年懇談会への出席率が今ひとつであり、今後は、出席率を上げられるよう内容の充実に努めていきます。また、学校と家庭・地域との連絡を密にして、さらに信頼関係を高めてまいりたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>		<p>教職員 71%</p> <p>保護者 82%</p>	

3 平成30年度の本校の教育目標や経営方針について

以上の観点から本校では、平成30年度は以下の教育目標、重点目標を掲げ、指導にあたってまいります。

教育目標

- 礼儀正しく思いやりのある生徒
- 自ら学び考える生徒
- 健康で体力のある生徒

重点目標

共に学び合い、自らの考えを表現できる生徒

本年度は、「課題に向き合い、自らの考えを表現できる生徒」を重点目標に、特に話し合い活動の充実に努めて指導にあたってまいりました。その結果、課題はあるものの、授業や総合的な学習の時間をはじめ生徒会活動等、さまざまな場面で生徒それぞれが意欲的に取り組み、一定の効果が得られました。

そこで、次年度は、表現力の育成を継承するとともに、「共に学ぶ」を指導の柱として設定し、「聴き合う」「学び合う」「支え合う」生徒の育成に努めてまいります。「学び合い」を学校経営の中心におくことにより、授業において一人一人に学びを成立させるだけでなく、主体的で対話的な深い学びに近づくことができると考えます。その手法として、アクティブラーニングの手法を積極的に授業に導入し、授業の質的改善に向け努力してまいります。この「学び合い」の場は授業に限ることなく、生徒の主体的活動である生徒会活動をはじめとする特別活動全般、特別な教科「道徳科」、総合的な学習の時間、そして、部活動と多岐にわたる学校生活全般に、そのプロセスやスタンスを活用して、互いに『支え合う』原町第二中学校の生徒の育成に努めてまいります。